

近畿学校保健学会通信

№65

平成 2 年 1 月 15 日 発行
近畿学校保健学会事務所
〒640 和歌山市九番丁27
和歌山県立医科大学衛生学教室内
☎0734-26-8324 (直通)
振替口座 大阪4-107021番

第37回 近畿学校保健学会の開催にあたって

第37回近畿学校保健学会

学会長 大 山 良 徳

(大阪大学教授・健康体育部長)

昨年6月、神戸大学の主催で開催された第36回近畿学校保健学会の総会において、第37回学会を大阪府が当番としてお世話させていただくことになり、不肖私が学会長の大役を仰せつかりました。会員の皆様方の暖かいご支援とご協力を賜わりまして、有意義な学会大会にいたすべく、微力ながら努力いたしたいと存じます。

開催要項にもありますように、期日は平成2年6月10日(日)、会場は大阪市の中心部にある「なにわ会館」にさせていただきました。当初、大阪大学キャンパスの会場を企画したのですが、市の郊外にあって不便なため、学舎外で開催することにいたしました。会館は初夏の候に対処できる冷房完備のホテル様式であり、交通の便もよく、最寄駅上六から2～3分の近距離にあります。詳細は、次号の学会通信に掲載いたします。

本学会の日程と内容については、大阪地区の運営委員会を開催して検討した結果、従来とは多少異なり、午前中は一般演題の発表と質疑のあと、学会長講演を予定しております。午後は特別講演と、新しく採用した学会長要望課題の研究発表を企画しています。特別講演は、近年の食生活かららむ輸入感染症(含エイズ)と子どもの健康についてお話しをいただく予定です。私たちは、感染症・伝染病に対して案外克服されたかのような錯覚に陥りがちですが、現在ではそれが形や性質を変えてきています。また一方では、若年者のそれらに対する免疫力の低下が指摘されています。この予防と対策に豊富な知見をお持ちの大阪大学微生物病研究所三輪谷俊夫教授から、示唆に富んだ興味深いご講演をいただくことを楽しみにしております。これに比べ、学会長講演は視野の狭いものですが、児童・生徒でも諸環境の変化に伴い、感染症と同様、形と機能を変化させています。これまで研究を重ねてきた資料をもとに、それらの発育発達の特徴を述べ、今後の課題について触れてみたいと思います。また、今回の近畿学会で初めての試みの学会長要望課題は、都市化されている環境下での子どもたちの実態を、学校保健の種々の立場から、時間をかけて明らかにしてもらうための研究発表です。現状を知ることが、最高の指導者・研究者の宝です。したがって、これからの研究発表と成果が期待されます。

最後に、学会開催日については、種々ご意見を聞き検討いたしましたところ、最終的に現場の先生方が抵抗なく参加していただくためという理由で、日曜日にいたしました。できるだけ多数の方がたにご理解をいただくとともに、ご参加を得て大会を盛り上げていただきたく、心からお願い申し上げます。

第37回 近畿学校保健学会(平成2年度年次学会)開催要項

1. 学 会 長 大阪大学教授(健康体育部長) 大 山 良 徳
2. 事 務 局 〒560 豊中市待兼山町1-1
大阪大学健康体育部・保健教育学部門内
第37回近畿学校保健学会事務局
(事務局長 大阪大学医療技術短期大学部助教授 平井 富弘)
☎ (06)844-1151 (内線 5921 岩井、5890 大山)
3. 開催期日 平成2年6月10日(日)
4. 会 場 なにわ会館(大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12 公立学校共済組合)
5. 日 程 受付 午前9時から
午前 ○3会場にて一般演題発表
○学会長講演 今なぜ保健か体育か
——現代の子どもの発育発達の特徴について——
昼休 ○評議員会
午後 ○総会
○特別講演 輸入感染症と子どもの健康
三輪谷 俊夫 教授(大阪大学微生物病研究所・細菌血清学部門)
○学会長要望課題「都市化の中の子どもの健康」研究発表
○懇親会
6. 会 費 正 会 員 3,000円
当日会員 2,000円、学生当日会員 1,000円(含資料代)
7. 参加申込 学会員でなくても、また近畿圏外の方であっても、当日の参加を歓迎いたします。
送信用封筒(宛名および72円切手付き)を下記事務局宛に送付していただければ、5月下旬までにプログラムその他詳細を掲載した「学会通信」を送付いたします。
なお、一般演題および学会長要望課題の研究発表希望者は、共同研究者も含めて正会員になる必要があります。会員でない方は、「近畿学校保健学会事務局」に入会手続きをして下さい。
(近畿学校保健学会事務局
〒640 和歌山市九番丁27 和歌山県立医科大学衛生学教室内 ☎(0734)26-8324)
8. 一般演題、
要望課題
発表申込 発表希望者は、申込用紙に必要事項を記入の上、4月7日(必着)までに、第37回
学会事務局宛申し込んで下さい。折り返し予稿集用オフセット印刷原稿用紙をお送りいたします。なお、原稿の締切は、5月2日です。発表に関し、既発表のもの、
および同一研究による分割発表はご遠慮下さい。

特別講演、学会長講演、および学会長要望課題

◆特別講演について◆

〔テーマ〕 輸入感染症と子どもの健康

〔趣 旨〕 国際化と共に、国際空港における検疫人数は近年急上昇し、1987年には1,161万人に達している。大阪空港は、東南アジア、韓国、中国、台湾の旅行者が多いのが特徴である。WHOが指定したコレラ汚染地域からの大阪空港への入国者も東南アジアが圧倒的に多く、97%を占めているという。私たち近畿圏に居住する者にとって、このことは無関心ではおられない。果たして防疫体制と輸入感染症（含エイズ）対策は万全なのだろうか。輸入感染症とはどんなものか、輸入食品は安全か、その実態について明らかにしてもらったと同時に、明日からの子どもの保健学習や保健指導に即刻役立てていただくために、三輪谷俊夫教授（大阪大学微生物病研究所・細菌血清学部門）の特別講演を企画した。

〔講師の横顔〕

三輪谷 俊 夫 大阪大学教授（微生物病研究所）

昭和27年3月 大阪大学医学部医学科卒業

昭和28年4月 大阪大学微生物病研究所研究員

昭和32年6月 大阪大学助手（微生物病研究所・医学部付属病院勤務）、助教授（微生物研究所）を経て

昭和47年4月 大阪大学教授（微生物病研究所）現在に至る。

昭和61年4月 大阪大学微生物病研究所長（昭和63年3月まで）

昭和35年7月～昭和37年9月 米国マウントサイナイ病院客員研究員

医学博士（昭和32年11月、大阪大学） 日本細菌学会浅川賞（昭和57年4月）

専 攻 医学細菌学

著 書 *Vibrio parahaemolyticus*—a causative bacterium of food poisoning（共著；Saikon Pub. Co., Ltd., 1976）

ビブリオ感染症（共著、医歯薬出版、1982）

図説臨床検査法「細菌・真菌学」（編集・共著、医歯薬出版、1982）

院内感染防止対策（編集・共著、日本医事新報社、1985）

細菌学はここまで進んだ（共同編集・共著、薬根出版、1986）

臨床検査マニュアル（共同編集・共著、文光堂、1988）

学会活動等 日本細菌学会理事長、日本防菌防黴学会副会長、日本感染症学会評議員、日本環境感染学会理事、日本医真菌学会評議員、日本臨床病理学会評議員、第15回国際微生物学会議（1990）会長、米国微生物学会（ASM）及び国際毒素学会会員。

◆学会長講演について◆

〔テーマ〕 今なぜ保健か体育か ——現代の子どもの発育発達の特徴について——

〔趣 旨〕 子どもの発育発達の特徴は、時代と共に変遷する。それは、自然・社会・文化環境が絶えず変化することに起因する。人口が都市に集中し、緑を破壊し、狭い土地に住居が密集するので、物理的、化学的、生物的、かつ精神的ストレスを助長する。一方、文明の発達によって、社会・文化環境を変えていく。子どもはこれらに適応していくのが通常であるが、必ずしもそうではない側面もある。子どもたちの発育発達はその表現形式の一つである。それがどのように変遷したか、諸要因との関係を分析し、問題点を明らかにするとともに、保健と体育との接点について提言を試みたい。

◆学会長要望課題演題募集について◆

〔テーマ〕 都市化の中の子どもの健康

〔キーワード〕 都市化、アレルギー、ライフスタイル、児童・生徒、健康（身体的・精神的・社会的）、遊び、栄養、運動

〔趣 旨〕 25年前の地域社会は、都市、農山村、漁村の言葉が示すように、かなり明確に特徴ある地域差がみられた。その後、現在に至るまで、テレビ、電化製品、自家用車の普及、道路・交通の整備、医療・福祉・文化施設の充実、衣・食・住の流通機構の均一化等は、住民の利便性と省力化、経済性を高め、生活内容は豊かとなり、都市的画一化の傾向を呈してきている。一方、このように都市化の進む環境の中での子どもたちにも、種々の変化がみられ、その影響は身体的のみならず、精神的、社会的健康にまで及びつつある。

大阪をはじめ近畿各府県はもちろん、全国的に子どもたちは、今その渦中にあり、学校保健関係の領域で解決すべき問題点は多い。このたび、第37回近畿学校保健学会を大阪で開催するこのよき機会に、上記課題に関心をお持ちの会員からキーワードを参考に演題を募集し、シンポジウムに代わる新しい方向を探り、21世紀に向けての子ども健康を考えたい。

平成元年度 第2回幹事会記録

日 時 平成元年11月18日(土) 午後2時半～4時半

場 所 大阪ガーデンパレス 4階403号室

出席者 18名

議 事

1) 第37回近畿学校保健学会（大阪）の企画について

(1) 大山良徳年次学会長より第37回近畿学校保健学会の準備状況が報告され、開催要項が原案どおり承認された。

2) その他

(1) 第38回年次学会の件

第38回年次学会は奈良県で行うことを承認し、学会長については次回幹事会までに地元での意見調整をはかり決定することになった。

(2) 平成2、3年度役員選出の件

各地区ごとの役員選出を4月15日までに完了されるよう武田幹事長から要望があった。

(3) 年次学会追加補助金の件

その年度の年次学会における新入会員の年会費（3,000円）については、そのうちの当日会費相当分（2,000円）を年次学会補助金に追加することとその財源は予備費をもって充てることになっているが、予算面での扱いは、年度末に補正予算を編成しなくても、決算報告書においてその旨の記載をすることで承認された。

なお、本年度（神戸）は新入会員29名分58,000円をすでに支出済みである。

第37回 近畿学校保健学会演題申込み用紙

(1題1葉に記入のこと。※印欄は記入しないこと。下記注意書き必読のこと。)

一般演題・要望課題 (いずれかに○印をして下さい) 演題名 _____	
発表者氏名、所属 (連名で発表の場合は演者に○印、新入会員には*印) _____	
連絡先 _____ 住 所 〆 _____ 氏 名 _____	TEL () _____
発表要旨 (100字ぐらいに) _____	
※ 受付番号 : _____ 原稿用紙発送 : _____ 月 _____ 日 :	一般演題番号 : _____ 要望課題番号 : _____ 発表時刻 : 午前 _____ 時 _____ 分 会 場 : A . B . C

申込用紙不足の場合は、これと同じ様式のものを用いて下さい。

記

1. 口演内容は学校保健の立場に立脚し、具体的な資料にもとづいた研究発表を希望します。
2. 発表者は原則として会費を前納して下さい。
3. 演題申込みはこの用紙 (または同様式) に必要事項を記入し、1990年4月7日(土)までに第37回学会事務局あてお送り下さい。折返し予稿集作成用の所定の原稿用紙をお送りします。

申込み先：〒560 豊中市待兼山町1-1

大阪大学健康体育部保健教育学部門内
第37回近畿学校保健学会事務局